

# 研究課題

# 小・中学校の継続性・系統性ある教育活動の推進

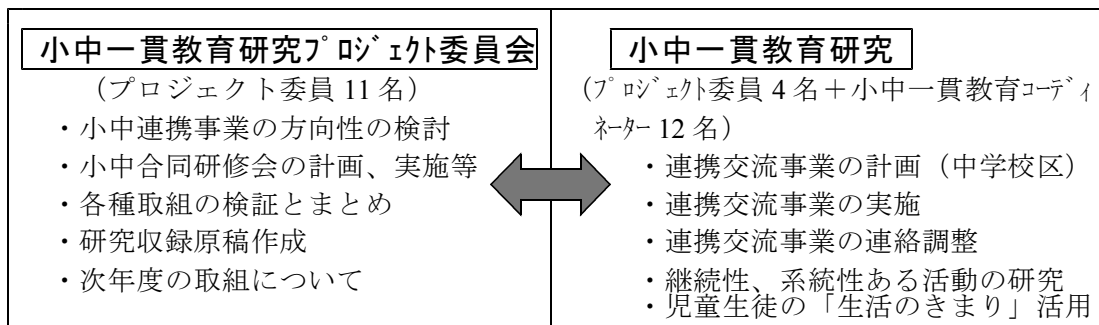
## 1 基本方針と研究推進の方向性

### 1 ねらい

- (1) 小・中学校の指導法の継続性、学習内容の系統性のある教育活動を推進し、教育活動全般における教育効果を高める。
- (2) 小・中学生の異年齢交流により、児童生徒の社会性や感性を育む。
- (3) 小・中学校の教員が、それぞれ異校種における教科指導や生活指導等を経験し情報交換することにより、発達段階に応じた教育内容や指導方法の工夫ができるようにする。

## 2 研究内容

- (1) 小中一貫教育コーディネーターを中心に、交流授業、教員1日交流、小中合同研修会を企画実施し、自校の教育に生かす。
  - ① 小中それぞれの教育観、教育活動を知る。
  - ② 教科内容の系統性を確認する。
  - ③ 互いの指導法の良さを知る。
- (2) 教員の積極的な交流を図り、生活面における児童生徒の適切な指導について共通理解を図る。
  - ① 児童・生徒指導の継続性について、情報交換する。
  - ② 個人情報の有効活用によって、個に応じたきめ細かな支援を円滑に接続する。
- (3) 異年齢の子どもがふれあうことにより、社会性など様々な感性を育む。
  - ① 児童・生徒が環境の変化に対応できるよう、柔軟な心づくりに努める。
  - ② 小学生が安心して中学校へ進学できるよう、早期より中学校の教育活動内容に慣れるよう工夫する。
  - ③ 小・中学生が合同で行う活動を取り入れ、思いやりやあこがれの気持ちを育て、子どもの主体的な活動の活性化を図る。



児童生徒のよりよい成長のために

教職員間の連携強化	児童生徒の交流
☆小・中学校の教師が連帯感を持ち、小・中学生を9年間を通して育てようという意識をもつために <ul style="list-style-type: none"><li>○教職員の交流① (1日交流：中学校区における交流)</li><li>○教職員の交流② (小中合同研修会)</li><li>○研究授業等の公開 (学区問わず)</li><li>○児童・生徒指導における「生活のきまり」の活用 →9年間の段階に応じた、継続的指導 (一貫性をもたせる)</li></ul>	☆小学生にとっては中学校への不安感をなくしスムーズなつなぎができるように、中学生にとっては、自己有用感をもたせるために <ul style="list-style-type: none"><li>○合唱等の発表会</li><li>○6年生への中学校案内</li><li>○出身小学校での合同清掃・美化活動</li><li>○合同あいさつ運動</li><li>○中学校体育祭・文化祭等への小学生の招待</li><li>○部活動体験 等</li><li>○中学校校舎での中学教師による小学生への授業 (体験活動)</li></ul>

## 2 具体的な取組

### 1 中学校区における教職員の連携研修の実施

#### (1) 小中教員交流研修（市内全中学校区内での交流）

##### 【内 容】

- 中学校区ごとに、小学校の教員が中学校で、中学校の教員が小学校で、それぞれ1日を通しての学校生活の体験交流を行う。
- 授業内容の系統性に加え、発達段階を踏まえた生活面での指導の違いや系統的な指導の必要性を確認し、情報交換を行う。
- 授業参観に加えて、T2や場合によってはT1で授業に参加する。  
中学校教員は、専門性を生かしてT1で授業を実践する。

【平成28年度 交流教員】 小学校…12名 中学校…12名 計 24名

	学校名	交流教員氏名	交流先	交流日
小学校 ↓ 中学校 ↑	1 薬師寺小学校	宮本 元与	南河内中学校	7 / 1 (金)
	2 吉田東小学校	鯉淵 礼子	〃	7 / 1 (金)
	3 吉田西小学校	杉山 薫	〃	7 / 1 (金)
	4 祇園小学校	川口 純	南河内第二中学校	7 / 14 (木)
	5 緑小学校	井澤 美代子	〃	7 / 14 (木)
	6 石橋小学校	佐藤 由佳	石橋中学校	11 / 22 (火)
	7 古山小学校	鮎川 浩未	〃	11 / 2 (水)
	8 細谷小学校	平石 秀邦	〃	9 / 15 (木)
	9 石橋北小学校	長谷川 詠美	〃	7 / 12 (火)
	10 国分寺小学校	石濱 啓貴	国分寺中学校	7 / 14 (木)
	11 国分寺西小学校	石原 樹	〃	7 / 12 (火)
	12 国分寺東小学校	佐藤 弘人	〃	7 / 15 (金)
中学校 ↓ 小学校 ↑	13 南河内中学校	日向野 みさき	薬師寺小学校	7 / 4 (月)
	14 〃	栗山 慶太	吉田東小学校	7 / 14 (木)
	15 〃	猪瀬 亜喜子	吉田西小学校	6 / 28 (火)
	16 南河内第二中学校	萩原 晴香	祇園小学校	7 / 14 (木)
	17 〃	椎名 茜	緑小学校	7 / 14 (木)
	18 石橋中学校	田熊 利光	石橋小学校	10 / 20 (木)
	19 〃	西山 保奈美	古山小学校	11 / 22 (火)
	20 〃	柴 栄	細谷小学校	9 / 13 (火)
	21 〃	二上 泰之	石橋北小学校	7 / 11 (月)
	22 国分寺中学校	柴田 祐希	国分寺小学校	7 / 4 (月)
	23 〃	増山 智大	国分寺西小学校	11 / 24 (木)
	24 〃	松島 俊之	国分寺東小学校	10 / 25 (火)

##### 【感 想】

##### ①授業に関すること

- ・授業の始めに「ねらい」が示され、終わりには「振り返り」の時間が確保されていた。振り返りがしっかり書けており、小学校からの継続的な指導によって書けるようになったことが認識できた。

- ・授業中の学習規律等、小学校で身に付けさせておくべきことが明確になった。
- ・教科担任制のため、一人の良さを生徒を複数の教員で多方面から認めてあげることができるのが良いと感じた。
- ・生徒同士での問題解決学習が行われていた。小学校でも発達段階に合わせた指導が必要だと感じた。
- ・小学校で学んだことが前提の授業であるために、小学校での学習がいかに大切を実感した。
- ・話合いの仕方を身に付けさせていきたい。
- ・生徒に語りかけるよう、考えさせるような方法で授業が行われていた。
- ・小学生が目を輝かせながら中学校のことを聞いていた姿が印象的だった。
- ・小学校では学校全体でねらいの提示や振り返りに取り組んでいたため、中学校でも取り入れたいと感じた。
- ・小学校の先生方は空き時間がない中で、きめ細やかな対応をしていると感じた。
- ・小学生の知的好奇心の高さは素晴らしいと感じた。
- ・小学生の発想の面白さ、豊かさにふれることができた。
- ・小学校は入試などの目標となるものがないので、宿題など勉強に対するモチベーションを維持させるのが難しいと感じた。
- ・事前に小学校の先生方と検討して授業に臨んでみたいと感じた。

## ②生活に関すること

### ア 中学校での生活で、小学校の教員が感じたこと

- ・小学校の穏やかで良い雰囲気がそのまま反映されており安心した。
- ・担任以外の先生方が見取った生徒の良さを担任に伝え、帰りの会で賞賛されていた。職員の連携の良さが感じられた。
- ・中学1年生はセルフコントロールがうまくできない生徒もおり、幼さを感じた。6年生の時よりも幼くなっていたように感じた。
- ・中学生は多忙な中にも充実感をもって生活している様子に嬉しさを感じた。
- ・清掃のしかたや着席時間のルールなど、小中連携の大切さを改めて感じた。
- ・小学校時代よりも成長した姿が見られた。

### イ 小学校での生活で、中学校の教員が感じたこと

- ・先生が児童の声によく反応して、きちんと一人一人に対応している様子から、児童と先生との関係がうまくいっていると感じた。
- ・小学校の1年間は大きな変化があるということを実感した。
- ・縦割り班活動は中学校でより効果があるように感じた。
- ・小学生の時にできていたことが中学校でできなくなってしまうように指導したいと感じた。
- ・あいさつや後輩の面倒を見ることなど、小学校の習慣が中学生に引き継がれていることを感じた。

## (2) 小中教職員合同研修会

中学校区・期日・会場	内 容
南河内中学校区 8 / 2 (火) 14:00 ~ 薬師寺小学校	研修テーマ「小中一貫教育を見据えて、部会ごとに取り組む内容を模索する」 ・分科会 班別協議 ①管理職部会 ②学力向上・英語部会 ③児童生徒指導・特活・道徳部会 ④特別支援・保健・教育相談部会 ・全体会 各班毎の発表



## 2 中学校区における児童生徒の交流事業の実施

### (1) 南河内中学校区での交流

- ① 小中合唱交流 【11月 1日(火)】
  - ・南河内中3年生(3クラス)が分かれて各小学校へ。合唱による交流を実施。
  - ・3年1組→吉田東小 3年2組→薬師寺小 3年3組→吉田西小
- ② 中学校授業参観(小学6年生児童、保護者にも公開) 【11月12日(土)】
- ③ 新入生保護者説明会(会場:南河内中) 【12月15日(火)】
  - ・小学6年生児童の中学校授業体験～国語・理科・英語の授業を実施。
  - ・生徒会本部役員による小学6年生児童への中学校説明会を実施。
  - ・小学6年生児童・保護者向けの部活動見学を実施。
- ④ 下野市子ども未来プロジェクト活動
  - ・地域美化啓発活動～道の駅しもつけにおいて「ごみのポイ捨て禁止」を呼び掛けるポケットティッシュを配布。 【12月～2月にかけて5回程度】
- ⑤ 中学生によるあいさつ運動 【12月中の登校時】
  - ・南河内中野球部員と薬師寺小児童がハイタッチで朝のあいさつ。



〈薬師寺小における合唱交流〉



〈小学6年生児童の中学校授業体験〉



〈吉田西小における合唱交流〉



〈吉田東小における合唱交流〉

#### 《 成果 》

- ・今年度も小学校と連携し、合唱交流を実施することができた。合唱だけでなく、今年度は小学校の計画でゲーム等でふれあい、交流を深めることができた。中学生にとっては、自己有用感が高まり、たいへん意義のある交流となった。
- ・4年目となった小中交流授業は、国語、理科、英語を実施した。児童は、中学校の授業を楽しく体験し、授業への不安を解消できた。

#### 《 課題 》

- ・昨年度から加わった子ども未来プロジェクトの活動における児童生徒の交流は、今年度実施できなかった。生徒の意見を反映し、来年度は、1回でも多く児童生徒の交流を計画したい。そのために、小中連携して行事の調整を行い、年間行事計画に位置付けたい。
- ・今後継続していくために、児童生徒の移動における安全確保は、大きな課題である。



〈あいさつ運動〉

## (2) 南河内第二中学校区での交流

### ・あいさつ運動

児童生徒がともに助け合って自主的にあいさつ活動をすることで、さわやかで明るい地域作りに貢献するとともに、児童生徒のよりよい交流の場となるように、春から秋にかけて、月1回小中合同のあいさつ運動を実施した。今年は、中学生が祇園小・緑小に出向いて実施した。



### ・小中交流音楽集会 11月2日(木)

中学校の合唱コンクールで金賞・銀賞になった3年生と2年生の4学級が、2学級ずつ祇園小・緑小に出向き、合唱を披露した。司会進行は小学校の児童が行い、小学校の選抜合唱団の歌の披露やインタビューなどが行われた。また、全員で「すてきな友達」(祇園小)、「世界に一つだけの花」(緑小)の合唱も行った。



〈手をつないで入場〉



〈小学生の合唱〉



〈全体合唱〉

### ・二中地区クリーン活動 11月22日(火)

児童と生徒と一緒に地域内の公園や通学路の清掃を行った。



〈班ごとの自己紹介〉



〈清掃活動〉



### ・新入生学校説明会 12月8日(木)

祇園小と緑小の6年生、本校入学予定者、保護者を対象に中学校の体育館で生徒の手による中学校の説明会を開催した。学校の説明後、児童は中学2年生と一緒に授業体験をした。



〈学校生活紹介〉



〈授業体験〉

### ・ポスター交流

いじめ撲滅を目指して、小・中学校でそれぞれポスターを制作し、交換して掲示した。



### 《成果》

- ・子ども未来プロジェクトとのタイアップもあり、交流活動が進んだ。中学生は先輩としての自覚が深まり、自己有用感が高まった。小学生の高学年は中学校の理解が進み、低・中学年は交流自体を楽しむことができ、お互いにより影響を与え合った。

### 《課題》

- ・学校間で活動時間、場所や内容などの調整が困難である。天候等によって臨機応変に行ったり、ぎりぎりまで中止決定を遅らせたりすることができず、早々と中止せざるを得ないこともあった。予備日の確保も必要であるが、行事も多くなかなか難しい。

### (3) 石橋中学校区での交流

「入学説明会」では中学1年生が6年生及び保護者に対して歓迎の合唱を披露した。また学校行事や部活動・生活の決まり等についてスライドを使つての説明を行った。その後、中学1年生と6年生で合同の授業を行った。

「児童・生徒交流会」では、お互いの学校の情報交換やクリーン作戦についての打ち合わせなど活発な意見交換を行うことができた。

「あいさつ運動」では、中学生が登校時間に出身小学校を訪れ、あいさつ運動を展開した。小学校の児童と共に、校門や昇降口で、登校してくる児童や地域の方々に元気よくあいさつをした。

「クリーン作戦」では、中学生が出身小学校を訪れ、小学生とともに小学校の校舎や地域の公園の清掃を行った。



入学説明会 歓迎の合唱



入学説明会 合同授業



共遊



児童・生徒交流会 意見交換



あいさつ運動



クリーン作戦

#### 《成果》

- ・小学生は、中学生が優しく親切に対応してくれたことに安心感を感じていた。
- ・小中学生合同で授業を行うことで、小学生は中学校の授業を体験し、教科担任制の授業を実感することができた。
- ・中学生は6年生に対して「学校案内リーフレット」を作成し、入学説明会において配付した。先輩としての自覚が芽生えるとともに、表現力の向上につながった。
- ・クリーン作戦後の「共遊」などの活動を通して、小学校と中学校の絆が深まった。

#### 《課題》

- ・1年生の授業だけでなく、2・3年生まで交流の幅を広げられると良いと感じたが、実際は小中学校間の時間や場所、内容の調整が難しい。また、部活動は自由に見学できたが、体育館や武道場は使用できず、一部の部活動しか見学することができなかった。
- ・小学校と中学校が離れているため、頻繁に行うことが難しい。

#### (4) 国分寺中学校区での交流

- ① 小学校音楽集会参加  
6/20(月): 国分寺小 (国分寺中3年生のよる合唱発表など)  
国分寺東小 (国分寺中3年生のよる合唱発表など)  
6/21(火): 国分寺西小 (国分寺中2年生による合唱発表など)
- ② 下野市子ども未来プロジェクト活動(国分寺中)  
8/26(金): ワークショップ、今後の交流についての話し合い(児童・生徒代表者)
- ③ 下野市子ども未来プロジェクト活動(小中交流活動)  
10/5(水): 国分寺小 【共同清掃活動、お楽しみ交流会】(生徒会役員による交流)  
国分寺東小 【共同清掃活動、お楽しみ交流会】(生徒会役員による交流)  
国分寺西小 【共同清掃活動、お楽しみ交流会】(生徒会役員による交流)
- ④ 新入生オリエンテーション  
12/8(木): 国分寺中へ各小学校の6年生が来校  
生徒会本部役員による新入生への中学校説明会  
小学6年生児童・保護者向けの授業体験や部活動見学・体験など

#### 【小学校における合唱発表】



【子ども未来プロジェクトの清掃活動交流】



【新入生オリエンテーション体験授業】



#### 《成果》

- ・子ども未来プロジェクトの活動をはじめ、児童生徒の交流はますます盛んになり、大きな成果をあげている。
- ・新入生オリエンテーションにおける合同授業を行うことにより、中学校への理解と期待が高まった。

#### 《課題》

- ・時間の確保や場所、内容の調整等が難しい。
- ・児童生徒の移動における安全確保が難しい。